模試の向き合い方で合否が決まる！模試活用術完全ガイド

もくじ

・市販模試の意外な活用法：勉強の早い段階から読みはじめる効果
・模試を受ける前にメリットとデメリットを整理し、模試を受ける意味を考えるべし
・模試を受ける目的を明確にしない危険な理由
・伊藤塾流　模試の向き合い方
・以上を踏まえた効率的な模試の復習方法
・何回受けるべき？複数社受けるべき？
・おまけ　解く順番はどうするべき？

市販模試の意外な活用法：早い段階から読む効果

・市販模試は例年６月あたりから販売される。おそらくガッツリ解くことはしないが、
とにかくすぐ買うのだ

⇩なぜか

理由①**巻頭特集は宝の山！法改正、今年のヤマ当て、ちょっとしたテクニックを読むため**
理由②**普段の勉強にメリハリがつくから**

早い段階で模試を見ておくと、日々の学習の集中力にメリハリがつきます。 例えば、テキストで「代理」のページに入ったとき「あ、巻頭特集に載っていた今年の模試のヤマだったな！」と気づければ集中力が跳ね上がります。

[ここからは行政書士受験時、少し捨て問を作った話です。一応載せておきます]

逆に模試を見て、少しだけ捨て分野も作りました。
民法って、これだけ膨大な範囲を勉強しても択一９問しか出ないんだ.....
（知ってたけど、こうやって見ると改めて少ないなと思った）
じゃあ**『頻出テーマではない』かつ『理解するのにめちゃめちゃ時間がかかる』コスパ最悪ゾーンは、いったん放置でいいや！おそらく出題されてもギリギリ正答率 50%切るし！！**
と考えて一部スパッと諦めました。転用物訴権とか。あと苦手な根抵当権は時間を使いすぎないようにして、最低限の暗記に留めました。（2025 年のわたしはその作戦でたまたま上手くいきましたが、あまり参考にしないでください。あくまで予備校のランクをベースに捨て分野を作ってください）

【早い段階から模試を「読んで」おくことで、**普段の勉強の注意力があがること間違いなし**】

Q 模試って直前期に取り組むものじゃない？早くから着手してもいいの？

→おっしゃる通りですが、市販模試は複数の出版社から出ていて、予備校の公開模試まで含めれば本試験までにやり切れないほどたくさんあります。早い段階で１つや２つ見てしまってもまったく問題なく、メリットの方が大きいです。

模試を受ける前にメリットとデメリットを整理し、模試を受ける意味を考えるべし

メリット	デメリット
会場受験だと場慣れできる	受けること自体にも、その復習にも時間がかかる
時間感覚・解く順番のシュミレーションができる	本試験と比べて作問のクオリティが低い
優先的に補強すべき弱点を発見できる	網羅性に欠ける
現場でランク C 問題を判断し、スルースキルを養成	受けすぎると模試の復習だけで手一杯に
初見の問題への対応力（現場力）を養うため	変な点数をとったらメンタルがやられる
ケアレスミス経験できると、本試験で同じミスしない	お金がかかる

https://youtu.be/QcWtNAYgWyA?si=RQF1jvugiCzQwiue

【注意】受かりたければ、模試を受けてはいけない理由

→模試を受ける前に、**模試を受ける目的を明確にしないと気づいたら勉強の中心が模試の復習に終始してしまうリスクがある。超キケン！**

模試を受ける目的を明確にしないまま、なんとなく受けていると危険な理由

☑網羅性に欠けるから（10 回受けても重複がありムダが発生。その割に網羅性×）

☑意識しないとムシすべきＣランク論点に時間を使ってしまうリスクがあるから

☑大事な直前期に C ランクに気を取られた結果、重要な AB ランクが直前期にスパーンと抜けてしまうおそれがあるから

https://youtu.be/TnL9-aglYn0?si=wiJ1zlf-52k4qGXr

【恐怖】直前予想模試の落とし穴【宅建 2025】

では直前期は何をすべきか？

⇩

ニガテを把握しつつ「網羅的に・ニガテを重点的に」テキストでアウトプット

伊藤塾流　模試の向き合い方

以下、行政書士試験を前提とした内容となっていますが、宅建も行政書士も条文や判例をベースとして試験であることは同じです。ゆえに模試の向き合い方や復習方法は同じです。

【行政書士】３ヶ月で合格しよう！模試の活用法・復習法　（伊藤塾）
https://youtu.be/7_-7Bz6HL0w?si=Jddu-MLChelpIiwW

この動画から、模試の復習に時間をかけ過ぎではならないことや、模試を受ける一番の目的は解く順番や時間配分のシュミレーションであることが分かりますね！

行政書士試験の模試はいつから受ける？模試の活用法を徹底解説（伊藤塾）
https://column.itojuku.co.jp/gyosei/detail/moshi-itsukara/

こちらでも、自分の分かっていないところを洗い出すことができれば、模試の問題を復習する必要はない旨が書かれています。模試を通じて①弱点把握のためのツール②時間配分や解く順番のシュミレーションをすることが主な目的であり、復習に時間をかけ過ぎるべきではないということですね

以上を踏まえた効率的な模試の復習方法

・[ランクAB　かつ　間違えた部分]をまとめ集にオレンジで反映(本編1- 動画②線の引き方へ)
☑余裕があればＬ 公 ①30-1 (LEC 公開模試①問 30 選択肢 1 の略)など書いておく
→色分けでニガテを可視化して、**オレンジ部分を**重点的に、**透明ふせんとマッキー**を使って何度も見ずに言えるか？をチェックする
（詳しくは本編 1 の P3 で解説）
→既に問題集グルグル勉強法の欠点で述べたように問題を何度も解き直すのは効率が悪い

⇩

まとめ集に間違えた箇所を書き込んで、まとめ集を重点的に何度もチェックするべし

振り返るべきは模試ではない！ニガテを反映したまとめ集だ！！

・自分のニガテ意識が強いところは講義と問題集に戻って分野ごと補強する

何回受けるべき？複数社受けるべき？

・人によるが、模試を受ける目的を明確にし、それを果たせればOK
・間違いなく受けすぎはよくない
・宅建受験の際にはTokyo Joe先生の過去問模試　＋　LECの良問厳選模試
しかやっていません。日建学院の予想模試は買いましたが、前記の通り読んだだけでした
・Joe先生の過去問模試は本試験問題です
・また良問厳選模試はすべて過去問からピックアップしているので、実質模試のオリジナル問題は一度も解いていない。正直問題集などで触れているものもあり、見たことある問題がそのまま出るケースもあり、時間配分のトレーニングとしては△だったが、重要論点を直前期に総ざらいする意味では非常によかった
・ちなみに行政書士では5回受けましたが、復習が中途半端になったものもあります

おまけ　解く順番はどうするべき？

動画の中で藤田先生がショートケーキのいちごを食べるタイミングになぞらえておっしゃっていましたが、模試で自分なりに試してみて、好きなようにしてください！

参考までにわたしの解いた順番と時間配分を書いておくと

統計の問題→残りの5問免除　→　法令・税　→　業法　→　権利特別法(11-14)　→　民法

「時間配分」←わたしはニガテで失敗談でも書いた通り、行政書士本試験でもミスっている

民法(1~10)以外を1時間ちょいで解いて(ざっくりし過ぎですよね…けどほんとにこれでやっていました)残りを民法で解いていました。
当時は民法が異常に難しい傾向だったのでシュミレーション通りの時間配分でよかったのですが、近年は業法が難しく民法がやさしめだったりするので、こればかりは現場で臨機応変に判断していくしかないと思います。

・参考までに、わたしは科目ごとにマークする派です
免除解く→5つマーク　法令解く→8つマーク　税その他を解く→3つマーク…という流れです

・得意科目がある方は、その科目から解きはじめてリズムを作るのもいいかもしれません。模試であれこれ試して、しっくりくる順番と時間配分をシュミレーションしておいてください

おわりに

決して地頭がいいタイプとは言えずと遠回りをしてきたからこそ伝えられることがあると思いました。その失敗談と、自分なりに模索した効率のいい方法論を共有することで、みなさまが合格へ一直線で向かえますように願っています。